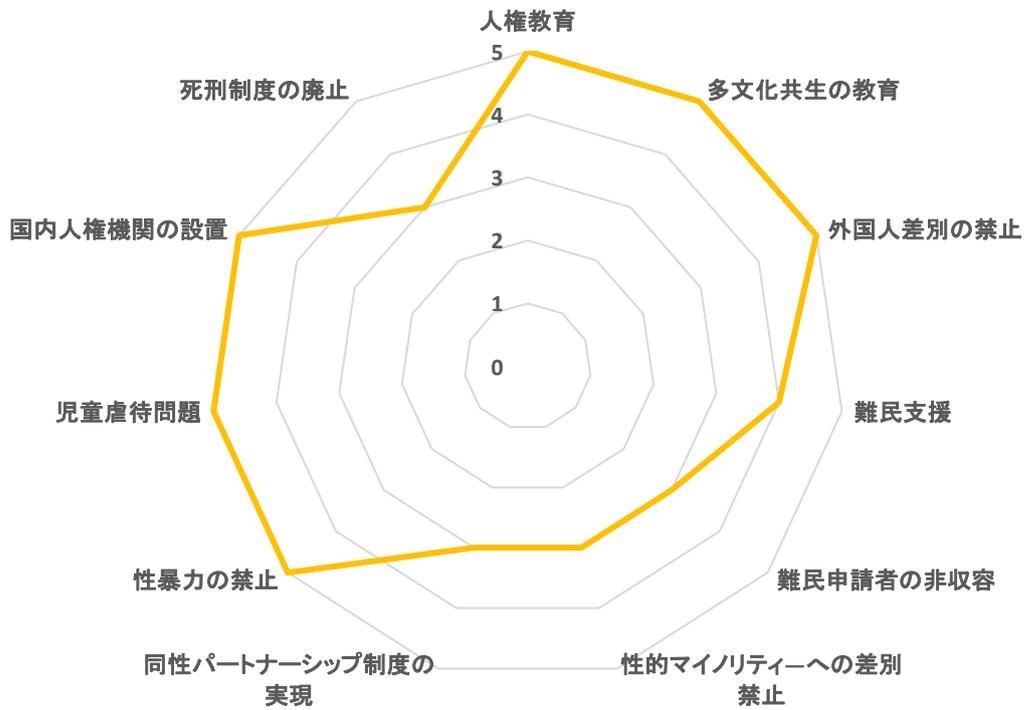


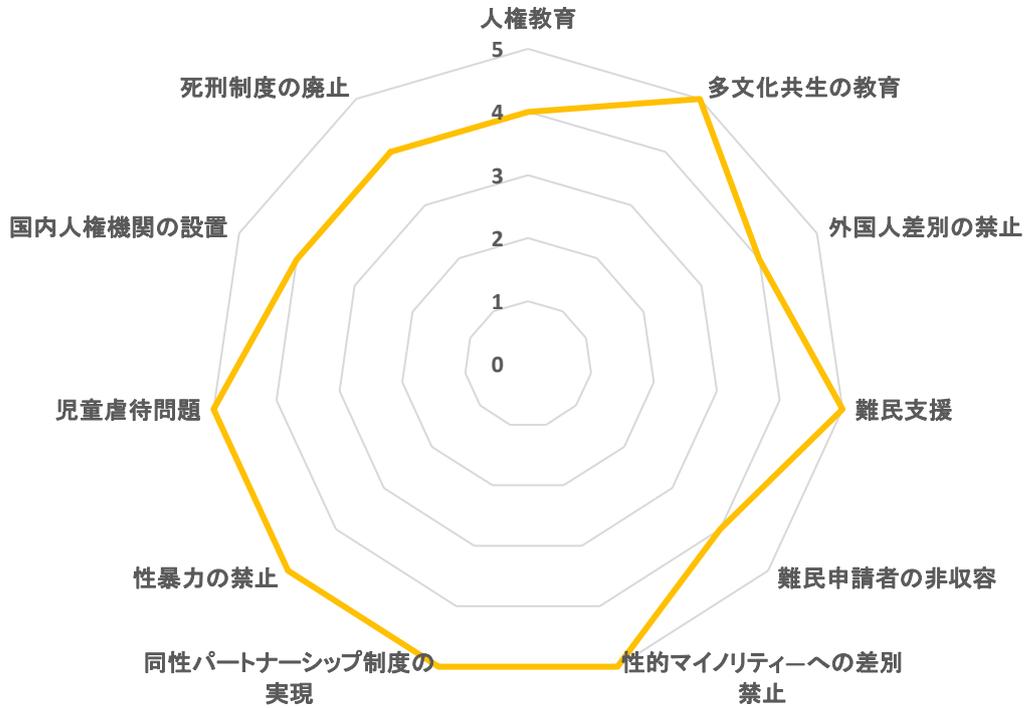
加田 裕之(自民)



特に取り組みたい人権課題

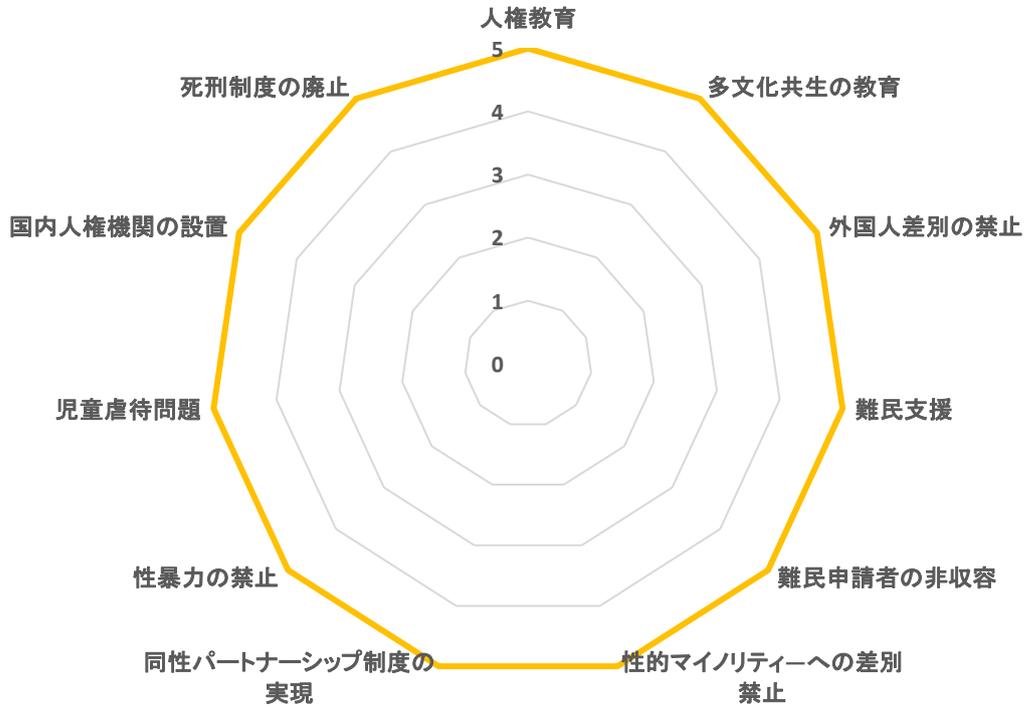
- ・児童虐待・DV・多文化共生社会・部落差別解消
- ・北朝鮮拉致問題

高橋 光男(公明)



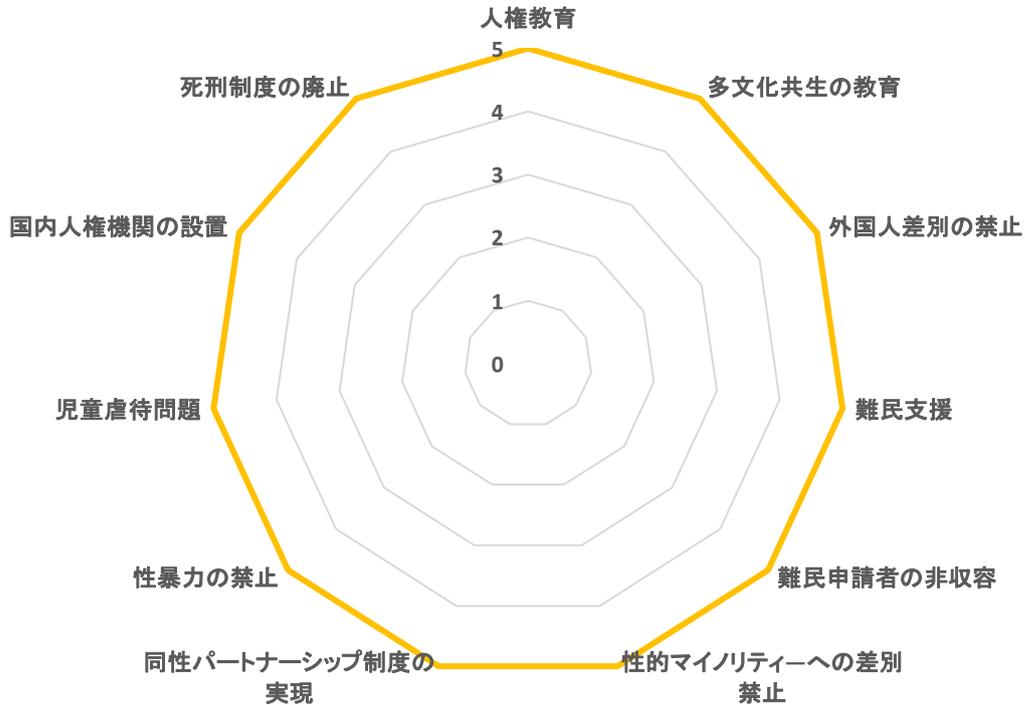
特に取り組みたい人権課題

安田 真理(立憲)



特に取り組みたい人権課題

金田 峰生(共産)



特に取り組みたい人権課題

日本共産党は、今回の衆議院選挙で「差別や分断をなくし、誰もが尊厳をもって自分らしく生きられる社会に」を政策の柱の1つに掲げました。①ジェンダー平等社会を推進します、②性暴力やDVを許さない社会をつくらせます、③ハラスメントに苦しむ人をなくします、④LGBT/SOGI(性的指向・性自認)に関する差別のない社会をつくらせます、⑤在日外国人の権利を守り、ヘイトスピーチを根絶します、⑥先住民としてのアイヌの権利をまもりまします—の6本から成り立っています。私もその実現に全力で取り組みます。